

日本英文学会東北支部ニュースレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan

2021 年 6 月号 (June 2021)

発行 日本英文学会東北支部 〒960-1296 福島市金谷川 1 番地 福島大学 人間発達文化学類 高田英和研究室内
TEL: 024-548-8156 E-mail: tohoku@elsj.org URL: <http://www.elsj.org/tohoku/>

支部長挨拶

日本英文学会東北支部長 川田 潤

長い東北英文学会の歴史を引き継ぎ、日本英文学会東北支部が正式に発足してから 10 年が終わり、今年から新たな 10 年が始まります。今年度より東北支部は「理事の連続選出の制限に関する申し合わせ」が適用された、新たな世代となります。それに伴い、長年、支部長を務めてこられました大河内昌前支部長から引継ぎ、今年度より 2 年間、東北支部長を務めることとなりました。昨年度まで 4 年間、事務局運営にあたられた竹森徹士前事務局長と島越郎事務局長補佐、そして 2 年間を務めていただいた酒井祐輔事務局員に心より感謝いたします。今年度からは、大貫隆史副支部長、そして高田英和事務局長、川崎和基事務局長補佐、佐藤元樹事務局員という体制で事務局を運営してまいります。新たな 10 年に向けて、会員の皆様のお力を借り、支部の活性化に尽力したいと思います。

昨年度は、Covid19 の影響により、対面での授業、研究会、学会の中止や延期など、激動の 1 年でした。ですが、このような変化は、同時に、これまで「当たり前」だったことを疑い、新たな可能性にチャレンジするための機会だったと前向きに捉えることもできます。昨年の 6 月時点ではまったく手探りであった遠隔での授業、会議、学会も 1 年間試行錯誤をしたことで、色々な長所も見えてきました。近年、大学業務の多忙化で、なかなか出席することができなかった学会や研究会に、遠隔だからこそ参加できる機会が増え、遠く離れた研究者とコミュニケーションをとる機会はむしろ増えたとも言えるかもしれません。また、様々な会議にも、遠距離を移動することなく参加できるようになり、会議にかかる時間も短縮化され、より効率化が進んだという面もあります。このような経験を活かすことで、私たちの前には新たな可能性が多く開かれています。ですが、一方で、対面の重要性が薄れたわけではありません。遠隔を体験すればするほど、対面での空気感、息づかい、視線など、空間と肉体の存在の重要性も改めて認識することができました。現在、いかにこの両方を活用して新たな可能性にチャレンジしていくかが問われていると思います。

本年は 11 月に宮城教育大学で支部大会が予定されています。現段階では、開催形式がどのようになるかは流動的です。ですが、対面になるにせよ、遠隔になるにせよ、あるいはハイブリッドになるにせよ、東北支部大会がポスト・コロナの時代の新たな形の研究の交流と意見交換の場となるように、会員の皆様の叡智をお借りしながら、よりよい形での大会運営を考えて行きたいと思っています。そのためにも、会員の皆様の積極的な発表へのご応募、ご参加のほどを、よろしくお願いいたします。同じく、機関誌『東北英文学研究』にも、ぜひ、若い研究者からベテランの研究者まで、積極的なご投稿をお待ちしています。

入退会手続きおよび会費納入について

全ての東北支部会員の入退会手続きおよび会費納入は、支部事務局ではなく本部事務局を通じて行われることとなります。日本英文学会 HP (<http://www.elsj.org/>) に入退会に関する情報がございますのでご覧下さい。詳しくは本部事務局 (ejimu@elsj.org) へお尋ねください。

年会費は、本部会費 (7,000 円) + 支部会費 (1,000 円) です。

第 76 回支部大会の開催について

2021 年 4 月 18 日 (日) に第 1 回理事会および大会準備委員会が Zoom を用いて開催されました。審議の結果、第 76 回大会は以下の日程で行われることになりました。大会形式は 6 月末の次回の大会準備委員会で決定することとし、現時点では形式はまだ未定です。

日時：2021 年 11 月 27 日 (土)

場所：宮城教育大学

※新型コロナウイルス感染症の拡大の状況等により開催に変更が生じた場合には、支部ホームページにて、すみやかにお知らせいたします。

研究発表応募要項

第 76 回大会で研究発表をご希望の方は、(1) 研究発表概要 (2000 字・審査用)、(2) 概要の要旨 (400 字・採用された場合に大会プログラムに掲載)、(3) カヴァーレターの 3 点を 6 月 18 日 (金) までに MS Word 形式の添付ファイルにして、東北支部事務局 (tohoku@elsj.org) までお送りください。

また、(3) のカヴァーレターは、東北支部 HP (<http://www.elsj.org/tohoku/>) よりダウンロードしたものをお使い下さいますようお願い申し上げます。

シンポジウムについて

第 76 回大会で行われる予定のシンポジウムでは、次のような企画が進行中です。どうぞご期待ください。

◆英米文学部門：テーマ：「英米文学における記憶と想像力」

司会・講師：小林亜希 (山形県立米沢女子短期大学准教授)

講師：福士航 (東北学院大学教授) 宮澤文雄 (島根大学講師) 三村尚央 (千葉工業大学教授)

◆英語学部門：テーマ：「**談話依存の形態論・語形成**：談話情報はどのように語彙レベルの現象に関与するのか？」

司会・講師：西牧和也 (新潟食料農業大学講師)

講師：五十嵐啓太 (長岡技術科学大学講師) **Patrick Maher (岩手県立大学 盛岡短期大学部講師)** 納谷亮平 (筑波大学助教) 石田崇 (広島修道大学助教)

大会準備委員について

今年度の大会準備委員は以下の会員が務めます。

英文学部門：三枝和彦（山形大学） 大貫隆史（東北大学）

米文学部門：村上東（秋田大学（非））

英語学英語教育部門：西牧和也（新潟食料農業大学） 齋藤章吾（弘前学院大学）

開催校委員：竹森徹士（宮城教育大学）

編集委員について

今年度の編集委員は以下の会員が務めます。

英文学部門：福士航（東北学院大学） 佐藤恵（東北福祉大学） 三枝和彦（山形大学）

米文学部門：村上東（秋田大学（非））

英語学英語教育部門：中島崇法（東北大学） 三上傑（大東文化大学） 岸浩介（東北学院大学）

なお、米文学の投稿論文については、村上委員および村上委員の依頼による2名の外部査読委員（もしくは1名の外部査読委員と英文学担当の編集委員1名）の3名の審査委員により審査が行われます。

事務局の体制について

高田英和（福島大学）が事務局長を、川崎和基（日本大学工学部）が事務局長補佐を、佐藤元樹（福島大学）が事務局員を務めております。支部大会開催関係事務と会計を高田が、出版関係事務を川崎が、HP管理を佐藤が担当しております。事務局へのご連絡はEメール（tohoku@elsj.org）をお使いください。

理事会報告

以下に、2021年4月18日（日）に開催された第1回理事会の議事録を掲載します。

日本英文学会東北支部 2021年度第1回理事会 議事録

日 時：2021年4月18日（日）・14:00～15:00

場 所：Zoomによる遠隔会議

出席者：

支 部 長 川田潤（福島大学）

副支部長 大貫隆史（東北大学）

理 事 大西洋一（秋田大学） 金子淳（山形大学） 木村宣美（弘前大学）

境野直樹（岩手大学） 佐々木和貴（秋田大学） 島越郎（東北大学）

鈴木亨（山形大学） 竹森徹士（宮城教育大学） 福士航（東北学院大学）

事 務 局 高田英和（事務局長） 川崎和基（事務局長補佐）

報告事項

(1) 本部理事会報告

参考資料(本部理事会)に基づき、会員数の現況に合わせた支部支援金計算式の見直しについての報告があった。また、本年度全国大会が遠隔開催となったことも確認した。

議事

(1) 2020 年度事業報告

資料 1 に基づき、2020 年度事業報告があり、誤字を修正の上、承認された。

(2) 2020 年度決算報告

資料 2-1 に基づき報告があり、承認された。

(3) 2020 年度監査報告

資料 2-2 に基づき監査報告について報告があり、承認された。

(4) 2021 年度事業計画について

資料 3 に基づき、2021 年度事業計画について説明があり、承認された。大会開催形態については、事務局より、大会準備委員会での議論を踏まえ、遠隔開催の可能性を含めて継続して、検討を行うとの説明があった。理事からは、遠方より来るシンポジアムの講師等がいることから、遠隔が望ましいのではないかとの意見があった。

あわせて、4 月 1 日締め切りのトラベルグラントへの応募者がいなかったことが報告された。

(5) 2021 年度予算について

支部支援金計算式の見直しに基づく 2021 年度予算について諮り、了承された。

(6) その他

金子理事より、所属の変更の報告があった。規約等を確認・整理し、支部長と金子理事とで今後のことについて検討することとした。

以上